

個人投資家向け説明会

2021 年 11 月

日産車体株式会社

会社紹介

日産車体は、ここ神奈川県平塚市に本社、
湘南工場、テクノセンターがあり秦野市には秦野事業所、
そして福岡県には日産車体九州があります。
それでは、この4つの拠点の特徴をご紹介します。

本社、湘南工場ではNV200バネット、
小型トラックのピックアップなどを生産。

テクノセンターでは新型車の開発や試作モデルの制作。
秦野事業所にはボディパーツを作るプレス工場と、
テストコースをはじめとする実験設備。

そして、日産車体九州では、
ミニバン エルグランドや輸出用のパトロールなどを生産。

日産車体で生産されたクルマは、
日本国内はもちろん、海外でも高い評価をいただいています。

日産車体で生産されたクルマは、国内に出荷されるだけでなく、
世界各国へも輸出されています。
高品質なクルマを、世界中のお客様へ。

2021 年度第 2 四半期の内容

皆さま、こんにちは。

日産車体株式会社、代表取締役社長の吉村東彦です。

ただいまより、2022 年 3 月期 第 2 四半期決算について説明致します。

2021 年度、第 2 四半期の累計売上台数は 6 万 1 千台となり、新型コロナウイルス流行前の水準には届かないものの、大きく落ち込んだ前年同期の 5 万台から、持ち直しました。

車種別では、前年度落ち込んだ中東向けの Y62 パトロールや、北米向けのアルマーダ、また Y61 パトロールが増産となりました。

次に、売上高についてです。2021 年度第 2 四半期の売上高は、前年同期の 1,224 億円に対し、1,151 億円となりました。売上台数が増加したものの売上高が減少している理由は、エンジン、トランスミッション等、日産自動車からの支給部品を売上に含めない会計処理をすることになったためです。

損益面では、営業利益は前年同期のマイナス 66 億円に対してマイナス 5 億円、当期純利益は前年同期のマイナス 36 億円に対してマイナス 2 億円と、前年度に対し改善はしたものの、新型コロナウイルスや半導体供給不足の影響が続き、厳しい状況となりました。

以上が、第 2 四半期の実績です。

続いて、通期の予想について説明します。

半導体供給不足による減産は下期も続いており、台数については厳しい状況にあります。通期の営業利益は当初見通しから大きく減少しマイナス 31 億円と、大変厳しい見通しとなりました。

以上が 2022 年 3 月期 第 2 四半期決算についての説明になります。

お忙しい中、ご視聴いただき、誠にありがとうございました。